

道徳授業を構想する手順

何を学習するかを明らかにする（指導観の明確化）

【学習指導要領解説】

- ◆ 特別の教科道徳編
- 内容項目と道徳的価値
- 発達段階に即した指導の重

【子供の実態】

- ◆ 道徳的価値に関わって
- これまでの学びの経過
- よさや課題の状況

【教材（教科書）】

- ◆ 年間指導計画に基づく選定
- 場面構成と流れ
- 中心場面の吟味

授業の方向性の検討とねらいの設定

道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲、道徳的態度）の中のどれを育てるかを決定する。

学習指導過程を設定し、子供の姿を想定する。

導入

展開（道徳的価値の理解を図る・道徳的価値を自分のこととして捉える）

終末

興味・関心をもつ。

道徳的価値について話し合い、理解を深めている。

これまでの自分の状況を見つめ、生き方に関わる自己の課題を考えている。

思いが高まる。課題をまとめる

指導方法の工夫を考える（「考え、議論する道徳」の展開を意識して）

【教材を提示する工夫】

- ・ ICT機器
- ・ ペープサート
- ・ 紙芝居
- ・ パネルシアター
- ・ BGM
- ※ 臨場感を大切にする
- ※ 分割した提示は避ける

【話し合いの工夫】

- ・ ペアトーク
- ・ グループトーク
- ・ 座席配置
- ・ 意図的指名
- ・ 相互指名
- ・ 心情メーター
- ※ 時間配分を考慮する

【発問の工夫】

- 発問の種類
 - ・ 基本発問
 - ・ 中心発問
 - ・ 補助発問
- 必要な発問
 - ・ 教材を通して価値に迫る発問
 - ・ 価値を理解する発問
 - ・ 自己を見つめる発問
- 状況に応じて行う発問
 - ・ 補助発問
 - ・ 切り返しの発問
- ※ ねらいと子供の理解に適した発問を構成する

【書く活動の工夫】

- ・ ワークシート・道徳ノート
- ※ 内容と機会を焦点化する

【表現活動の工夫】

- ・ 動作化
- ・ 役割演技
- ※ 日頃から経験を積む必要

【板書の工夫】

- ・ 縦書き・横書き・対比書き
- ※ 意見を聞き取り、類型化し、構造化と焦点化を図る

【説話の工夫】

- ・ 直接の経験談・間接の経験談
- ※ 感動を伝える

評価の箇所と方法を考える

「中心場面」「価値理解」「自己の振り返り」などでの学習状況を把握

発言、ワークシート、様子など
※ 授業中に観察記録をつける